

製品名: GCSm- γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11373**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | 人間、マウス、ラット、サル |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 31kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | GCLM |
| 別名 | GCLM; GLCLR; Glutamate--cysteine ligase regulatory subunit; GCS light chain; Gamma-ECS regulatory subunit; Gamma-glutamylcysteine synthetase regulatory subunit; Glutamate--cysteine ligase modifier subunit |
| 遺伝子 ID | 2730.0 |
| SwissProt ID | P48507 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト GCSm- γ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 42-91 |

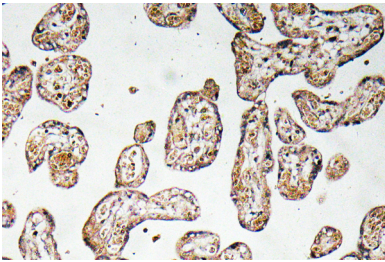
背景

グルタミン酸システインリガーゼは、 γ -グルタミルシステイン合成酵素としても知られ、グルタチオン合成における最初の律速酵素です。この酵素は、重触媒サブユニットと軽調節サブユニットの2つのサブユニットで構成されています。 γ -グルタミルシステイン合成酵素の欠損は、いくつかの溶血性貧血に関連していることが示唆されています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015年4月]、経路: 硫黄代謝; グルタチオン合成; L-システインとL-グルタミン酸からのグルタチオン: ステップ 1/2。、類似性: アルド/ケト還元酵素ファミリーに属します。グルタミン酸-システインリガーゼ軽鎖サブファミリー。、サブユニット: 触媒重鎖と調節軽鎖のヘテロ二量体。、組織特異性: 検査した全ての組織で認められる。骨格筋で最も高い濃度を示す。、

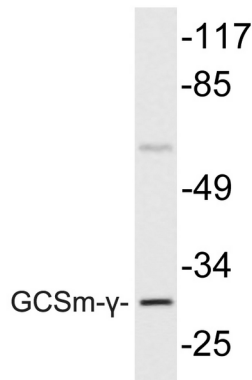
研究分野

グルタチオン代謝;

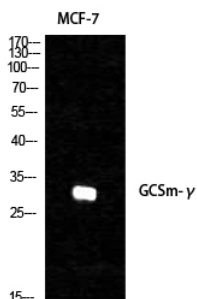
画像データ



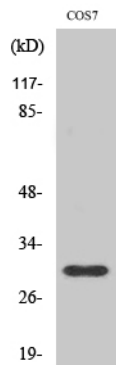
パラフィン包埋ヒト前立腺癌組織における GCSm- γ 抗体の免疫組織化学分析。



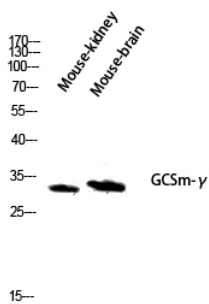
GCSm- γ 抗体を使用した COS7 細胞溶解液のウエスタンブロット分析。



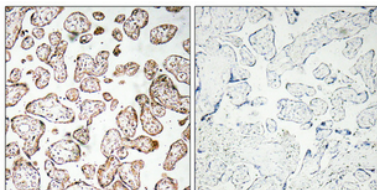
GCSm- γ ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウエスタンブロット分析した。



GCSm- γ ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた COS7 細胞のウェスタンブロット解析



GCSm- γ 抗体を用いたマウス腎臓およびマウス脳溶解物のウェスタンブロット分析。抗体は 1:1000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。